

## ■ 京都映画カンファレンス

【京都府】

### テーマ

クロスメディア時代の「映画」を考える  
～ 京都映画の千年、百年、十年～

### 概要

会期 : 2008年10月19日(日)  
時間 : 15:00～18:00  
場所 : 東映京都撮影所内 第1ステージ  
主催 : 太秦フェスティバル実行委員会  
協力 : CrIS関西2008実行委員会  
協賛 : ITコンソーシアム京都  
参加者 : 12,300人(関連イベント参加者を含む)

### 内容

『世界最古の長編小説「源氏物語」が初めて世に知られてから千年』、『京都の輝かしい映画の始まりから百年』、『IT技術により急速な変化を続ける映画・映像表現のこれから十年』の三つをキーワードに表現手法の変化、日本映画の魅力、きたるクロスメディア時代の映画の役割などをテーマにした講演・対談・ディスカッションを開催。日本古来の表現の奥深さやエンタテインメントとしての映画の魅力を発信した。

### プログラム

#### 講演 「千年の時を超えて～源氏物語の表現世界～」

- ・加藤 純子氏(文化財模写)  
源氏物語絵巻模写に携わった経験から、源氏物語の表現世界について講演した

#### 対談 「映画100年 その魅力を語る」

- ・中島 貞夫氏(映画監督)
- ・松原 信吾氏(映画監督)

#### < 進行 >

- ・北野 圭介氏(立命館大学 映像学部教授)  
映画史に残る数々の名作を通し、映画の担う役割や社会に及ぼした影響、また映画人の熱い思いを語った

#### パネルディスカッション

##### 「コンテンツ産業の10年

##### ～時代を写しそして伝える、その表現と手段～

- ・溝口 浩二氏(株式会社ニワンゴ 取締役  
ニコニコ動画の配信)
- ・林 海象氏(映画監督、京都造形大学教授)
- ・兼崎 涼介氏(映画監督、ネット配信用映画  
「メタル侍」監督)

#### < コーディネーター >

- ・細井 浩一氏(立命館大学 映像学部教授)



パネルディスカッション風景



クロスメディア時代のコンテンツ産業についてのディスカッション